

腫瘍関連学際領域特論 1 4 講義（2単位）

授業の目的と概要：がん治療に必要な腫瘍関連学際領域の総論と各論を履修する。

学修の到達目標：腫瘍関連学際領域学の基礎として、腫瘍専門医療者に必要な腫瘍循環器学、腫瘍腎臓学、老年腫瘍学などについての知識を系統的に学習する。

NO.	講義名称	東北大学ISTU 講義タイトル	担当大学		講義目的・概要 学修の到達目標
1	腫瘍循環器学 1	Onco-Cardiology(腫瘍心臓病)	東北大学 後岡広太郎	講義目的・概要 学修の到達目標	心臓腫瘍に関する知識並びに、Onco-Cardiologyの概論を学ぶ 心臓腫瘍の特徴が述べられる、Onco-Cardiologyの概念並びに主な心血管障害について説明できる
2	腫瘍循環器学 2	心不全	東北大学 高濱 博幸	講義目的・概要 学修の到達目標	腫瘍関連の心不全の病態と治療について 腫瘍関連の心不全の病態・治療を理解する。
3	腫瘍循環器学3	血栓症	東北大学 大山 宗馬	講義目的・概要 学修の到達目標	腫瘍循環器学の血栓症を学ぶ 腫瘍循環器学の血栓症の理解
4	腫瘍循環器学4	がん関連血栓症（知識編・実践編）	東北大学 梅津 道久	講義目的・概要 学修の到達目標	がん関連血栓症を理解し、診断できる医師を養成する。 深部静脈血栓症を正しく診断し、治療できる。
5	腫瘍循環器学5	がん分子標的薬と心血管系有害事象	東北大学 高橋 雅信	講義目的・概要 学修の到達目標	代表的ながん分子標的薬の心血管系有害事象を理解する がん分子標的治療を受ける患者での心血管系有害事象のリスク・対処法を考慮することができること
6	腫瘍循環器学	疫学・危険因子・多職種連携・地域連携	新潟大学 大倉 裕二	講義目的・概要 学修の到達目標	がん患者の心臓病リスクと変化を理解し、低減のための介入の必要性を理解すること。 がん患者の心臓病リスクへの介入プランを立てられるようになること
7	腫瘍腎臓病学 1	腫瘍腎臓病学Ⅰ	東北大学 吉田 舞	講義目的・概要 学修の到達目標	悪性腫瘍に関係する腎機能障害について、腎臓内科的視点を考える。 腎臓の非専門医であっても、腎機能障害に気づく、診断する、治療を考えられるようになること。
8	腫瘍腎臓病学2	悪性腫瘍と腎機能障害	東北大学 牧野 壘	講義目的・概要 学修の到達目標	OncoNephrology領域の中でも特にがん患者の腎障害について生理学から解説し、実際の症例も交えながら理解を深める。 OncoNephrologyの概要について理解できる。がんによる腎障害、がん治療による腎障害について理解できる。
9	腫瘍腎臓病学3	がん薬物療法による腎機能障害とその対応	東北大学 小峰 啓吾	講義目的・概要 学修の到達目標	がん薬物療法の実践において必要な腎機能障害への対応を理解する。 腎機能障害を起こすがん薬物療法を概説できる。腎機能障害のある患者に対するがん薬物療法の留意点について概説できる。
10	腫瘍腎臓病学	がん薬物治療と腎障害	福島県立医科大学 田中 健一	講義目的・概要 学修の到達目標	がん薬物治療による腎障害や腎機能障害を有す患者へのがん薬物治療における留意点、またその対策について概説する。 がん薬物治療による腎障害とその対策および腎機能障害患者に対するがん薬物治療について理解する。
11	老年腫瘍学 1 総論1	高齢期の多面的評価と CGA	東北大学(東北医科薬科大学) 富田 尚希	講義目的・概要 学修の到達目標	高齢者総合機能評価 Comprehensive Geriatric Assessment（CGA）の概念的枠組みとスクリーニングツール、他の多面的評価ツールとの違いと使い分けについて考察する。 高齢者総合機能評価（CGA）の概略を把握し、高齢者機能評価（GA）とのちがいを説明できる
12	老年腫瘍学 2 高齢者機能評価	多病と老年症候群	東北大学(東北医科薬科大学) 富田 尚希	講義目的・概要 学修の到達目標	多病（Multimorbidity）・Multiple Chronic Conditions (MCC)との関連を通じて、老年症候群（Geriatric Syndrome and conditions）を解説する。特別な老年症候群としての位置づけからフレイルと関連する状態について再考する。 老年症候群（Geriatric syndrome）と多病（Multimorbidity, or Multiple chronic conditions）について説明できる。老年症候群としてのフレイルと関連する状態について説明できる。
13	老年腫瘍学 3 高齢者でのがん治療	高齢がん患者に対する薬物療法	東北大学 高橋 昌宏	講義目的・概要 学修の到達目標	高齢者にがん薬物療法を行う際に知っておきたい老年腫瘍学の知識を得る。 高齢がん患者における薬物療法の進め方、がん診療に役立つ高齢者機能評価について理解する。
14	老年腫瘍学	老年腫瘍学	秋田大学 柴田 浩行	講義目的・概要 学修の到達目標	高齢化社会の到来を迎えて、老年医療は極めて重要なテーマである。高齢化とがん化は一部共通の成因を有しており、高齢化社会はがん多死時代であるといつて良い。生物学的には老化とがん化は似て非なる部分もあるが、老化予防の一部はがん化予防にもつながる。さらに近年ではセノリティクスという老化予防も提唱されている。また、高齢者は生理機能の低下もあり、抗がん剤の投与量なども高齢者に対する適正化が必要である。この目的のためにG8などの高齢者機能評価も提唱されている。このような老年腫瘍学の最新のトピックスと今後の対応を講義する。 老化とがん化の共通点や相違点を理解する。近年、提唱されているセノリティクスという概念ががん治療にも応用可能であるか考察する。さらに老年腫瘍学の実践について学びを深める。